



## 2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年11月5日

上場会社名 株式会社 ツツミ

上場取引所 東

コード番号 7937 URL <https://www.tsutsumi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 互 智司

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 吉川 哲也

TEL 048-432-5510

四半期報告書提出予定日 2021年11月8日

配当支払開始予定日

2021年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	7,290	23.2	102		179		80	
2021年3月期第2四半期	8,056	12.3	215		186		117	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	5.09	
2021年3月期第2四半期	7.19	

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	67,349		66,075		98.1	
2021年3月期	68,332		66,754		97.7	

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 66,075百万円 2021年3月期 66,754百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		15.00		15.00	30.00
2022年3月期		15.00			
2022年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,300	16.5	545	17.2	590	15.4	310	26.8	19.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 第1四半期会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、上記の予想は当該会計基準等を適用した後の数値となっております。詳細は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

#### 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期2Q	20,080,480 株	2021年3月期	20,080,480 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2022年3月期2Q	4,293,938 株	2021年3月期	4,073,463 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期2Q	15,895,638 株	2021年3月期2Q	16,392,919 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(会計方針の変更)	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大長期化に伴い経済活動の抑制が続くなど、厳しい状況で推移いたしました。政府による各種政策の効果やワクチン接種の進展により景気の持ち直しが期待されるものの、依然として新型コロナウイルス感染症の再拡大への懸念もあり、先行き不透明な状況が続いております。

宝飾品業界におきましても、こうした景況を反映し、企業を取り巻く環境は引き続き厳しい状況でありました。

このような経営環境のもと、当社は、お客様及び従業員の安全・健康を最優先に考え、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じたうえで店舗運営を行ってまいりました。また、ジュエリーツツミイオンモール川口店をはじめとする2店舗を新たに開設したほか、既存店2店舗のリニューアルを実施し、店舗の活性化等を図るとともに、多種多様なお客様のご要望にお応えできる体制の強化や新商品の企画・開発に取り組み、コロナ禍の状況においてもお客様にご満足いただける店舗づくりに努力してまいりました。

その結果、売上高は7,290百万円(前年同四半期比23.2%増)となりました。利益面につきましては、営業利益は102百万円(前年同四半期営業損失215百万円)、経常利益は179百万円(前年同四半期経常損失186百万円)、四半期純利益は80百万円(前年同四半期純損失117百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は、67,349百万円となり、前事業年度末と比較して982百万円減少しております。

これは主に、商品及び製品が363百万円、建設仮勘定が186百万円増加したものの、現金及び預金が759百万円、預け金が524百万円、売掛金が147百万円減少したことによるものです。

負債の部は、1,274百万円となり、前事業年度末と比較して303百万円減少しております。これは主に、未払法人税等が132百万円、未払消費税等が105百万円減少したことによるものです。

純資産の部は、66,075百万円となり、前事業年度末と比較して679百万円減少しております。これは主に、自己株式が518百万円増加し、利益剰余金が159百万円減少したことによるものです。利益剰余金の減少は、四半期純利益の計上に伴い増加したものの、配当金の支払に伴い減少したことによるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、2021年5月14日に公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

なお、第1四半期会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、業績予想は当該会計基準等を適用した後の数値となっておりますが、売上高対前期増減率については、2021年3月期の売上高を当該会計基準等の適用前の数値を基に計算しております。従いまして、2021年3月期に当該会計基準等を適用し算定した売上高で対前期増減率を計算した場合、当期予想の売上高対前期増減率は5.3%増となり、営業利益以降の段階損益の対前期増減率に変更はございません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	38,437	37,677
受取手形及び売掛金	1,017	865
商品及び製品	12,765	13,129
仕掛品	515	456
原材料及び貯蔵品	2,171	2,128
その他	985	528
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	55,886	54,780
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,478	7,478
その他(純額)	896	1,073
有形固定資産合計	8,375	8,551
無形固定資産		
投資その他の資産	330	296
その他	3,741	3,721
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,740	3,721
固定資産合計	12,446	12,569
資産合計	68,332	67,349
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	184	181
未払法人税等	318	185
引当金	208	220
その他	784	602
流動負債合計	1,496	1,190
固定負債		
長期末払金	44	44
その他	36	38
固定負債合計	81	83
負債合計	1,577	1,274
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,098	13,098
資本剰余金	15,707	15,707
利益剰余金	47,129	46,969
自己株式	△9,193	△9,711
株主資本合計	66,741	66,063
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13	11
評価・換算差額等合計	13	11
純資産合計	66,754	66,075
負債純資産合計	68,332	67,349

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	5,915	7,290
売上原価	2,589	3,318
売上総利益	3,325	3,972
販売費及び一般管理費	3,540	3,870
営業利益又は営業損失(△)	△215	102
営業外収益		
受取配当金	0	21
受取家賃	25	25
助成金収入	-	30
その他	10	8
営業外収益合計	36	85
営業外費用		
支払手数料	7	7
その他	-	0
営業外費用合計	7	7
経常利益又は経常損失(△)	△186	179
特別利益		
投資有価証券売却益	7	-
保険解約返戻金	61	-
特別利益合計	69	-
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	3	4
特別損失合計	3	4
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△120	175
法人税、住民税及び事業税	46	83
法人税等調整額	△49	10
法人税等合計	△3	94
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△117	80

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年2月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式220,400株の取得を行いました。この結果、当第2四半期累計期間において自己株式が518百万円増加しました。

この自己株式取得等により、当第2四半期会計期間末において自己株式が9,711百万円となっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、代理人取引に係る収益認識について、取引先等に対する支払額を売上原価として計上しておりましたが、売上高から控除する方法に変更しております。また、顧客へのオプション付与制度に係る収益認識について、顧客へ支払われる対価の一部を販売諸費・手数料(販売費及び一般管理費)として計上しておりましたが、売上高から控除する方法に変更しております。

当該会計方針の変更は、原則として遡及適用され、前年四半期及び前事業年度については遡及適用後の四半期財務諸表及び財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第2四半期累計期間の売上高は2,140百万円減少し、売上原価は2,090百万円減少し、販売費及び一般管理費は50百万円減少しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期財務諸表への影響はありません。